



## ホヌ・バイ・ザ・シーの物語とキャストについて



「ホヌ・バイ・ザ・シー (Honu by the Sea)」は、ハワイの海を舞台にした家族向けのミュージカル・ファンタジーです。カラフルな衣装、活気あふれる振り付け、見事なオーケストレーション、物語を高める親しみやすい歌など、このブロードウェイ風のミュージカルを通して、海洋環境保護の大切さや友情を子供たちに伝える物語として、国際的に高く評価されています。

ディズニーを彷彿させるホヌ・バイ・ザ・シーの楽曲はすべてジョンソン・イーノスによるオリジナル曲です。イーノスは、人間によって引き起こされた海洋汚染に直面している幸せな海洋生物の社会を描写した曲を作り、家族向けのミュージカル・ファンタジーとして海洋環境保護のメッセージを込めています。

キャストはすべてハワイ出身の俳優です。海に住む生き物たちを描写したカラフルな衣装をまといステージいっぱい歌って踊ります。ホヌ・バイ・ザ・シーは、子供から大人まで、老若男女を問わず、ミュージカルを楽しみながら海洋環境保護の意識を根付かせ、誰もが海を綺麗に保ちたいと思う気持ちにさせてくれるのです。海を訪れるひとりひとりが小さなゴミを見つけた時に拾い上げてゴミ箱に捨ててくれれば、海はもっと安全に綺麗になっていきます。

## 《キャスト》

ホヌと呼ばれる美しいウミガメの「マリア」 (Nickey)  
サーフィンが大好きなワイキキの10代の男の子「カイノア」 (Kaipo)  
不思議な力を持つヒトデ「シースター」 (Stephenie)  
大きなハサミを持つカニの「シャカ」 (Bryce)  
歯のないサメの「ナル」 (Ki)  
人気者のタコの「フラフープ」 (Miguel)  
タツノオトシゴの「カップパー」 (Natasha)

ホヌ・バイ・ザ・シーは、劇場やホテルで行う60分のフルバージョンのミュージカルから、海外の水族館や海洋保護活動のイベントで行う20分～30分のショートバージョンのミュージカルまで、目的に応じてバリエーションのあるミュージカルを行っています。

## 《ものがたり》 20分のショートバージョン「イマジン (Imagine)」

緑深い山々、青い海、ダイヤモンドのように輝く砂浜が広がる太平洋の真ん中に浮かぶ島ハワイ。心地よい朝日が登る頃、ワイキキ海岸の沖合の海の中から物語は始まります。海の中では、タコ、カニ、サメ、ヒトデ、ウミガメ、タツノオトシゴなど、沢山の海の生き物が幸せに暮らしています。彼らは海の守り主としてハワイの珊瑚礁に暮らしていますが、何か様子が変わり始めています。人間が排出するゴミが海を汚し、珊瑚礁を破壊し、海の生き物を苦しめているのです。

サーフィンが大好きなワイキキに住む10代の男の子カイノアが浜辺を歩いていると、海岸に打ち上げられたヒトデを見つけます。海に帰してあげようと手に取り、「1日だけでいいから、海の中を自由に泳げますように！」という願い事と一緒にヒトデを海に帰します。カイノアに助けてもらったヒトデ「シースター」には不思議な力があり、海に帰してもらったお礼にカイノアの願いを叶えてあげるので。

目を閉じて海の中を想像していたカイノア。目を開けると、もうそこは海の中で、美しい珊瑚礁には魅力的な海の生き物たちがいました。シースターは、「ようこそ私たちの海の世界へ」とカイノアを迎えます。そこに人気者のタコの「フラフープ」や大きなハサミを持つカニの「シャカ」がやってきてカイノアに挨拶しました。その時、タツノオトシゴの「カップパー」がビニール袋に絡まっているのをフラフープが見つかり、急いでホヌと呼ばれる美しいウミガメの「マリア」を呼び、みんなでカップパーに絡まったビニール袋を取り除いてあげました。マリアは、この美しい海に、ビニール袋やペットボトルのキャップがゴミとなって沢山海面に浮かんでいることを悲しんでいました。

カイノアは、海の中の美しい珊瑚礁や海の生き物たちに出会えたことを喜んでいましたが、小さなペットボトルのキャップやビニール袋、魚を捕まえる網が海に住む生き物を困らせていることを知ります。カイノアは「海のゴミはどこに行くの？」と尋ねました。カニのシャカが「ゴミ同士が集まり、幾層にもなって海面に浮かんでいるのさ。巨大なゴミになって」と言いました。そして海の生き物たちが一緒に「ゴミをちゃんと捨てるのは常識だよ」と歌い始めるのです。

カイノアは、魚や珊瑚礁、海洋植物を破壊してしまう恐ろしいスリッカーの存在のことも知りました。でも海の生き物たちは決して望みを捨てず、いつか真珠の貝殻を身につけた守り主が現れ、スリッカーをやっつけて、美しい海に戻してくれるという言い伝えを信じているのです。それまでは、みんなで力を合わせてがんばっているのです。

それからカイノアは、日が暮れて地上に帰るまで、海の生き物たちと一緒にゴミを拾いながらお掃除のパレードを楽しみました。また、友達が力を合わせて一緒にがんばっている姿を見て、海を大切にすることと友情を学びました。カイノアは、人間がもっと海のことや海の生き物たちのことを知ってくれば良いのになぁと思いました。そして、海をキレイにするために自分たちにできることを考え始めました。それは・・・。



®